

普及項目	担い手
漁業種類等	
対象魚類	
対象海域	有明海、八代海、天草西海

漁業士会活動による熊本地震被災地支援がもたらしたもの

天草広域本部水産課・長山 公紀

【背景・目的】

天草地区漁業士会では、熊本地震で被災した益城町住民への支援活動を平成 29 年から継続してきた。これは、同じ熊本県民として被災地の復興を応援したいという漁業士会員の意向を受けて始まり、平成 29 年は漁業士会から益城町を支援する内容であった。平成 30 年度は、漁業士会と益城町住民による、双方にメリットのある形の連携に発展させることを目的とした。

【普及の内容・特徴】

(1) 天草地区漁業士会と益城町住民による牛深ハイヤ祭りへの合同出場

日時：平成 30 年 4 月 22 日～23 日

場所：天草市牛深町

参加者：漁業士 5 名、水産課 2 名、益城町住民とボランティア計 15 名

概要：漁業士会員の発案と企画で、牛深ハイヤ祭り総踊りに天草地区漁業士会と益城町住民らが合同チームで出場した。益城町住民らは 2 泊 3 日で牛深町を訪れて祭りを楽しみ、漁業士からは水産物やクルージングなどのもてなしがあった。地元漁村の活性化のため、多くの参加者を得て祭りを盛り上げたいという漁業士に、被災地支援の繋がりから益城町住民が応えた形になった。

(2) 益城町住民による天草地区漁業士会の生産物販売協力

日時：平成 30 年 12 月 29 日～30 日

場所：グランメッセ熊本（熊本県上益城郡益城町）

参加者：益城町住民 3 名

概要：年末の出荷繁忙期に天草を離れられない漁業士に代わり、熊本市近郊で開催される歳末物産市会場に近い益城町仮設団地住民らが漁業士の生産する養殖クルマエビを販売した。売り上げの一部は益城町住民に日当として支払われ、漁業士の販売活動と被災地支援を兼ねた取り組みとなった。

【成果・活用】

熊本地震被災地の復興を応援したいという漁業士会員の意向を受けて始まった支援活動であるが、漁業士会事務局では、単発、短期間の取り組みで終わらせないために被災地住民との交流や連携を意識して取り組みをサポートしてきた。天草と益城町双方の復興に繋がるよう、今後も活動を継続させていきたい。



写真1 牛深ハイヤ祭り総踊りに出場した
漁業士会と益城町住民ら合同チーム



写真2 益城町住民に茂串海水浴場
(天草市)を案内する漁業士



図1 牛深ハイヤ祭り総踊りへの出場が掲載された
熊本日日新聞(平成30年4月23日)



写真3,4 益城町住民が漁業士会員のクルマエビ販売に協力
(平成30年12月29~30日 グランメッセ熊本)